

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	西成区
学 校 名	大阪市立天下茶屋小学校
学校長名	清原良一

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・天下茶屋小学校では、第6学年 32名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平素より授業は落ち着き、積極的な姿勢で取り組んでいる。昨年度より基礎学力の定着を課題として「読み・書き・計算」を中心に宿題・課題・家庭学習を進めた。また、5年時の後半より本テストを意識して学習してきた。その成果として、平均無回答率の高さは気になるが、平均正答率は前年度に比較し、大幅に改善し、市や全国平均にかなり近づいた。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕全国比0.94、大阪市比でも0.96となり前年度よりかなり改善された。「読むこと」「情報の扱い方に関する事項」については全国および市を下回っている。総合的読解力の育成が急務である。

〔算数〕全国比および大阪市比とも0.98となり全国平均にかなり近づいた。大阪市の「学力向上支援チーム事業」において算数を効果検証教科として取り組んでおり、その成果が表れた。数と計算で点数を上げられなかった面もあるが、「変化と対応」や「データーの活用」に課題があり、総合的読解力の育成が必要である。

〔理科〕平均正答率については全国比0.89、大阪市比0.93であった。内容については全区分・領域とも課題がある。実験などの作業は好きであるが、実験のデーターや結果から考察することが苦手な児童が多い。

質問調査より

「自分にはよいところがあると思いますか」の質問については、過去低い割合であったが、ここ数年市や全国平均とあまり変わらない割合になってきた。やはり「先生はあなたのよいところを認めてくれますか」の質問で、93.3%の児童が肯定的な回答をしているように、学級や学校で自尊感情を高める取り組みの成果と考えられます。「読書は好きですか」では83.3%が肯定的な回答をしており、市や全国平均を上回り、読書活動の取り組みや保護者への啓発活動の取り組みの成果と考えられます。またタブレットを活用した調べ学習の取り組みの効果として、93.3%ができると回答しており、全国平均を上回った。

今後の取組(アクションプラン)

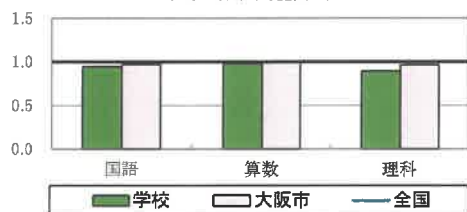
昨年度から「原点に戻る」ということで、学習の基本である「読み・書き・計算」を授業、宿題、家庭学習で徹底してきました。その成果もあり平均正答率もかなり改善されてきました。ただ国語でも算数においても、問題文そのものが読み取れていなかったり、表やデーターから考察する問題に課題があり、市や全国平均との差ができています。今年度は、昨年度から導入されている「総合的読解力」の育成（リベラルアーツ教育）をさらに推進していきたい。3年生以上で年間計画を立て、それに伴う資料を活用した学習の時間に取り組んでいきたい。

【 全体の概要 】

平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	63	57	51
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

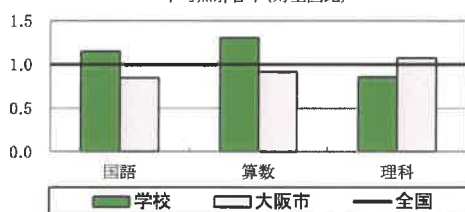
平均正答率(対全国比)



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	3.8	4.7	2.4
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均無解答率(対全国比)



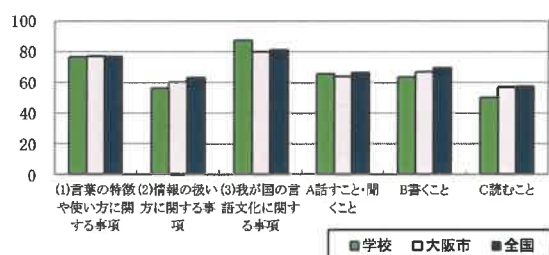
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	76.6	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	56.3	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	87.5	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	65.6	64.0	66.3
B 書くこと	3	63.5	66.7	69.5
C 読むこと	4	50.0	56.9	57.5

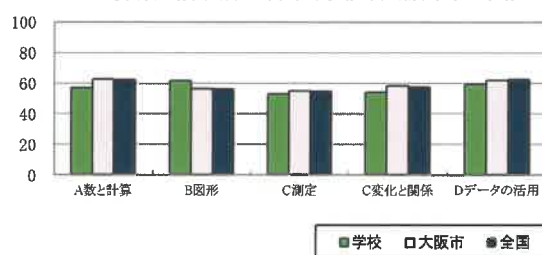
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	57.0	62.7	62.3
B 図形	4	61.7	56.4	56.2
C 測定	2	53.1	54.9	54.8
C 変化と関係	3	54.2	58.2	57.5
D データの活用	5	59.4	61.9	62.6

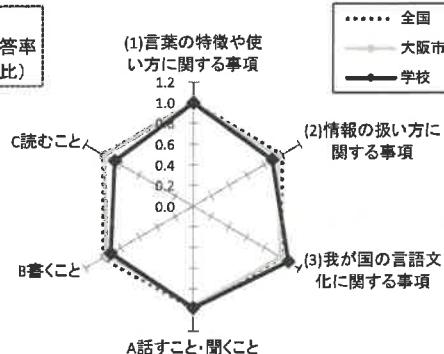
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



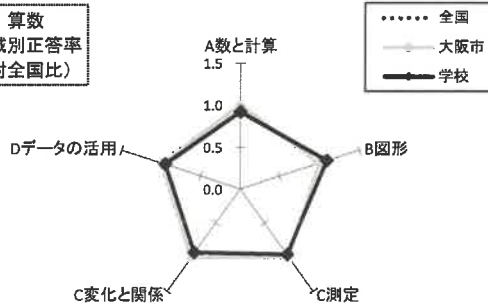
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

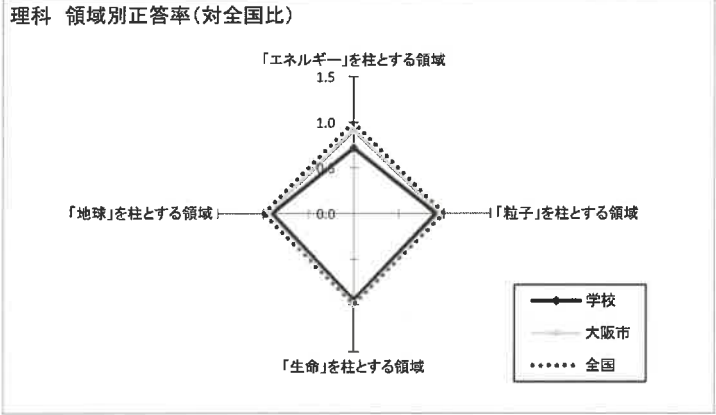
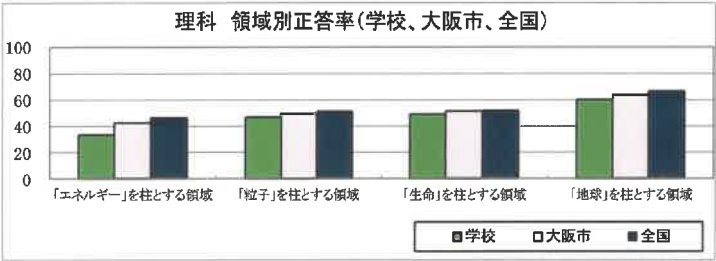


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	33.6	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	46.9	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	49.2	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	60.4	63.8	66.7



児童質問より

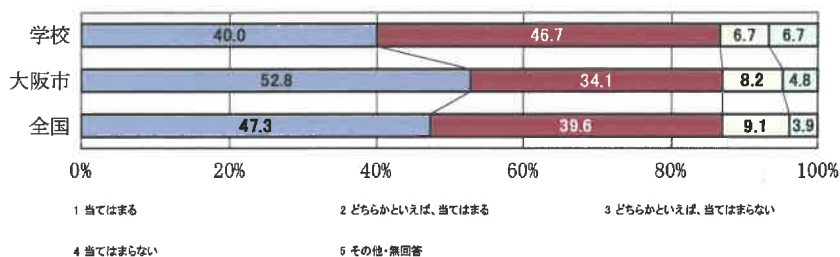
質問番号

質問事項

5

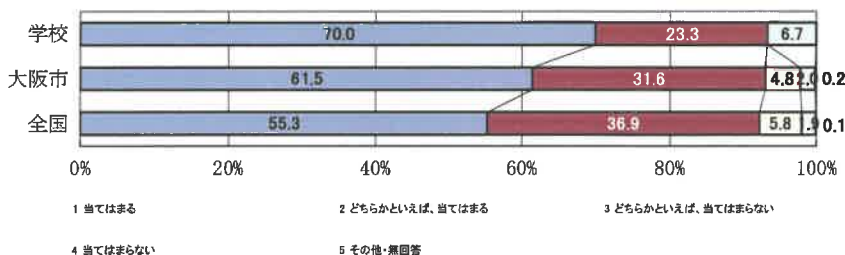
自分には、よいところがあると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



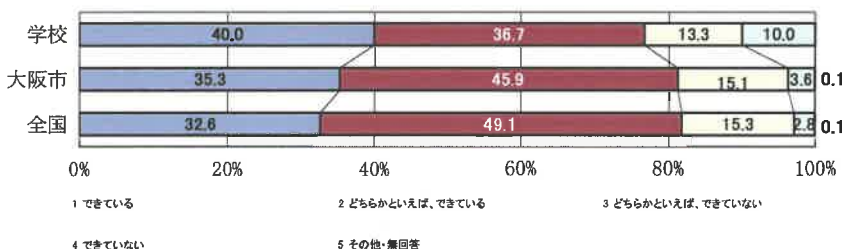
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



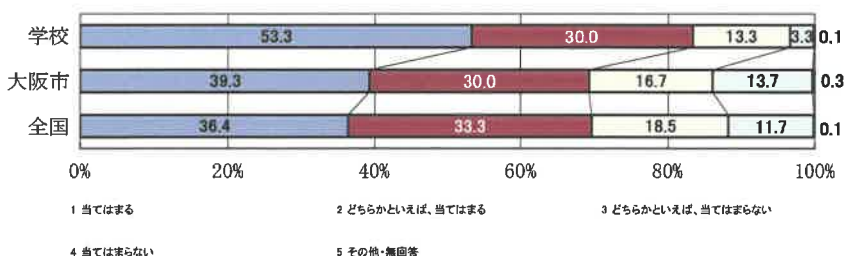
16

分からないことやわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



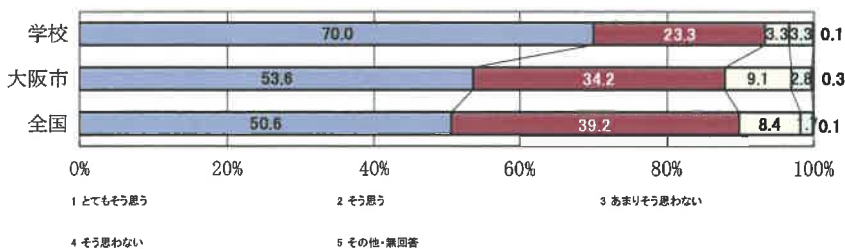
24

読書は好きですか



73

あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができますか



学校質問より

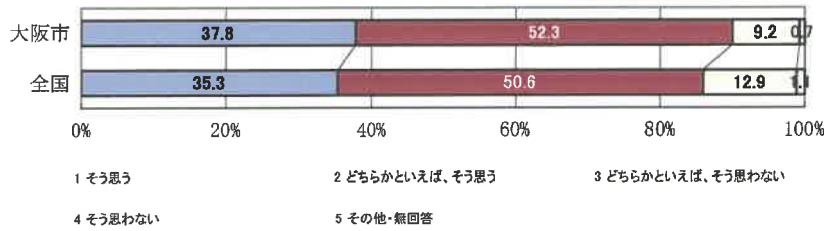
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

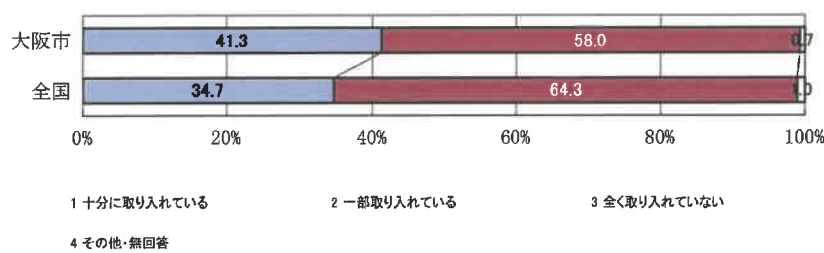
学校「どちらかといえば、そう思う」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

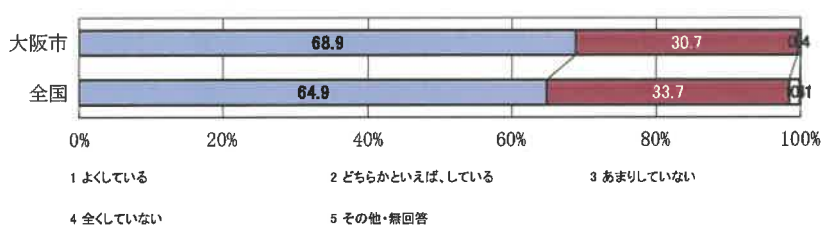
学校「十分に取り入れている」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

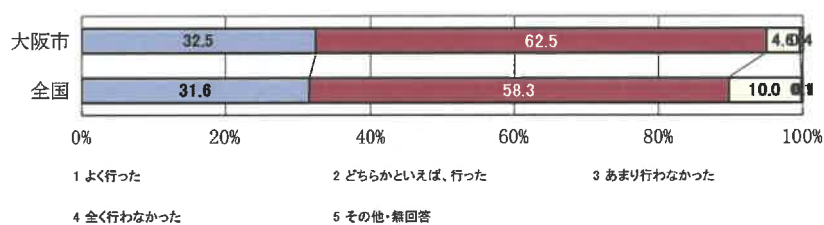
学校「よくしている」を選択



32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校「どちらかといえば、行った」を選択



56

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか

学校「ある」を選択

